

広島県経済の動向

令和5年6月15日
商工労働局

目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	中小企業の動向	5
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
IV	企業倒産状況	7
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
V	最近の雇用失業情勢	8
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況(全国・県内)	

(注)「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R5年		
	3月	4月	5月
基調判断	景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している		景気は、緩やかに回復している
輸 出	弱含んでいる		底堅い動きとなっている
生 産	このところ弱含んでいる		持ち直しの兆しがみられる
設備投資	持ち直している		
雇用情勢	持ち直している		
個人消費	緩やかに持ち直している		持ち直している
住宅建設	底堅い動きとなっている		
企業収益	総じてみれば改善しているが、そのテンポは緩やかになっている		

(2) 先行き

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和5年5月25日公表）】

2 広島県経済の動向

(1) 概要

指 標	R5年		
	3月	4月	5月
基調判断	緩やかに持ち直している	持ち直している	
輸 出	供給制約の影響が和らぐもとで、持ち直し基調にある		
生 産	持ち直しのペースが鈍化している		
設備投資	緩やかに持ち直している		
雇用情勢	全体として緩やかに改善している		
個人消費	持ち直している	緩やかに回復している	
住宅投資	横ばい圏内の動きとなっている		

(2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、物価動向や供給制約、海外経済の動向などが県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和5年6月7日公表）】

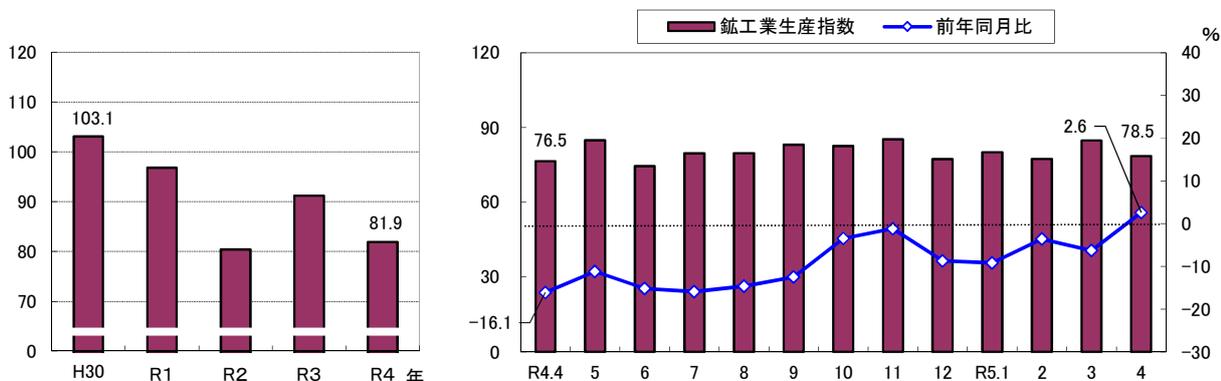
II 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼(令和5年4月)

4月の鉱工業生産指数(鉄鋼業、原指数、速報値、平成27年=100)は78.5で、前年同月比で2.6%増加となっている。

鉱工業生産指数(鉄鋼業)(年別、月別・前年同月比)

【県統計課】

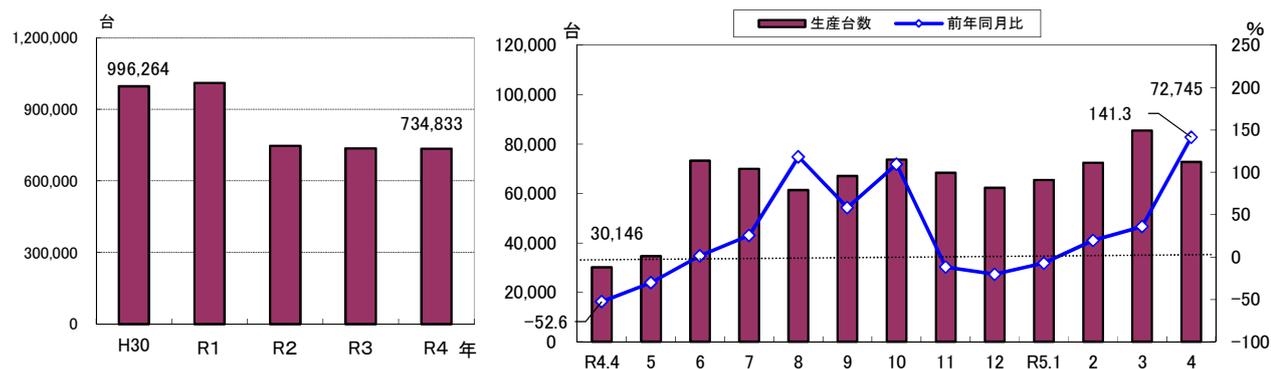


2 自動車(令和5年4月)

4月の国内生産台数は72,745台で、前年同月比で141.3%増加となっている。

自動車生産台数(年別、月別・前年同月比)

【マツダ(株)】

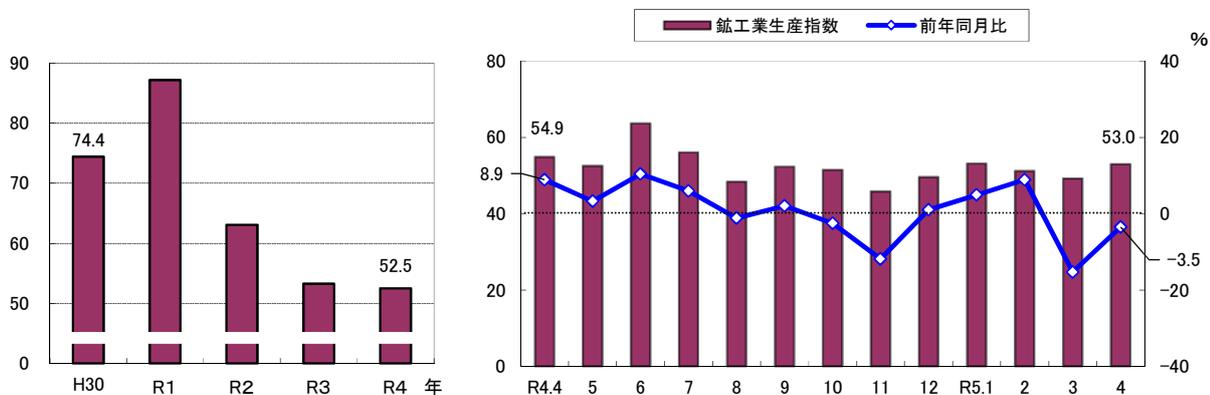


3 造船(令和5年4月)

4月の鉱工業生産指数(造船部門、原指数、速報値、平成27年=100)は53.0で、前年同月比で3.5%減少となっている。

鉱工業生産指数(造船部門)(年別、月別・前年同月比)

【県統計課】

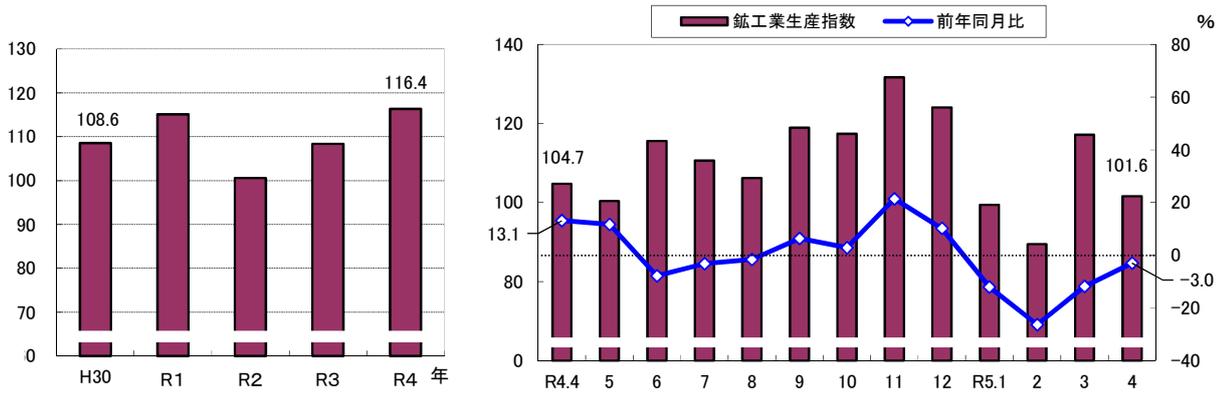


4 一般機械(令和5年4月)

4月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合)、原指数、速報値、平成27年=100)は101.6で、前年同月比で3.0%減少となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別・月別・前年同月比)

【県統計課】

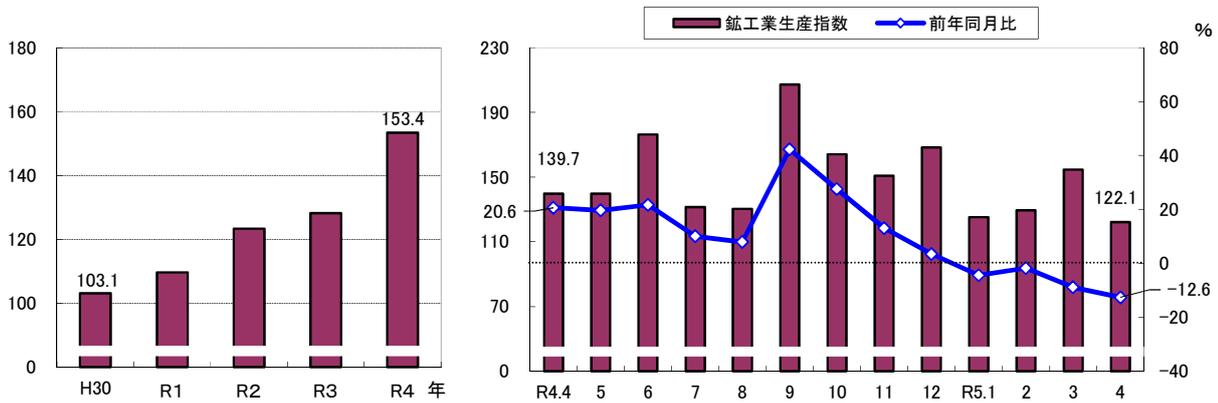


5 電気機械(令和5年4月)

4月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合)、原指数、速報値、平成27年=100)は122.1で、前年同月比で12.6%減少となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別・月別・前年同月比)

【県統計課】



Ⅲ 中小企業の動向(令和5年4月)

【広島県中小企業団体中央会（令和5年5月15日時点）】

1 概況

新型コロナウイルスの5類への移行に伴う人流の増加など、広島県内の経済活性化が見込める一方で、中小企業においては、原材料、電気代等の価格高騰や人件費の上昇による収益性の悪化が続いており、依然として先行きの見えない厳しい状況にあるため、今後の動向を注視していく必要がある。

自動車関連業種では、国内自動車販売台数は前年同月比+16.7%と8ヶ月連続で増加。マツダ車は+93.2%の大幅増加となった。

また、木材業界では、全国の令和5年4月の新設住宅着工戸数は67,250戸で前年同月比▲11.9%。広島県内の着工戸数は1,309戸で、対前年同月比▲31.0%となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「4月の生産・販売状況について（速報）」に基づく

※木材業界に関する記載は4月分のデータを掲載

2 景況感・景況感の変化

業種	3月の景況感	4月の景況感
食料品	普通	普通
繊維・衣服	やや悪い	普通
木材	やや悪い	悪い
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	普通	普通
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	普通	普通
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	普通	やや悪い
金属製品	普通	普通

業種	3月の景況感	4月の景況感
一般機械器具	やや悪い	普通
電気機械器具	普通	普通
自動車部品	普通	普通
造船	普通	普通
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	普通	やや悪い
内航海運	やや悪い	やや悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位：業種)

景況感	3月	4月	増減
好況	0	0	0
やや好況	0	0	0
普通	10	10	0
やや悪い	9	8	▲1
悪い	1	2	1

3 前月(3月)から変化のあった主な業種

業種	3月の景況感	4月の景況感	変化の理由・状況
繊維・衣服	やや悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> ・景気回復の兆しが見え、売上が徐々に良くなっている。 <p>【山陽テクノ協同組合】</p>
木材	やや悪い	悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・3月の着工戸数は1,863戸で、対前年同月比+26.6%、うち持家は342戸で▲5.5%、貸家は859戸で+6.2%、分譲は580戸で+94.0%であり、前年同月比が2カ月連続で増加。貸家と分譲の伸びによるものであり、持家は厳しい状況にある。 ・木材価格は、丸太、製品とも徐々に下降。インフレが施主の住宅購入意欲を減退させ、住宅の市場規模が縮小している状況にあり、特に持家の新規受注が進まない要因と思われる。 ・建築費の高騰で施工業者の収支が悪化しており、住宅会社はプレカット仕入れ価格の値下げ姿勢を明確にしているが、プレカット会社は電気代等の値上げで抵抗感が強い状況にある。 <p>【広島県木材協同組合連合会】</p>
鉄鋼(鋳物)	普通	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・業界全体で原材料価格の高騰への対応が遅れ、収益性が悪化していると考えられる。 <p>【靱鉄鋼協同組合連合会】</p>
一般機械器具	やや悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> ・売上は前月比▲35%、前年同月比は+5%となった。また、日工会が発表する3月工作機械受注実績は前年同月比▲15.2%の1,410億1,900万円と3ヶ月連続の減少となった。 ・しかし、内需を中心に期末効果もあり、前月比では+13.6%と3ヵ月ぶりに増加した。また、工作機械の需給は調整局面にあり、業界は慎重姿勢となっている。 <p>【広島県東部機械金属工業協同組合】</p>
トラック輸送	普通	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の売上高は前月比、前年同月比ともに減少 ・物価高騰により消費等の低迷が影響し、物流の荷動きが鈍化した ・軽油価格は主要産油国の減産方針による価格上昇分に対して、補助金額が上昇した結果、1円の値下がりとなった <p>【広島東部トラック運送事業協同組合】</p>

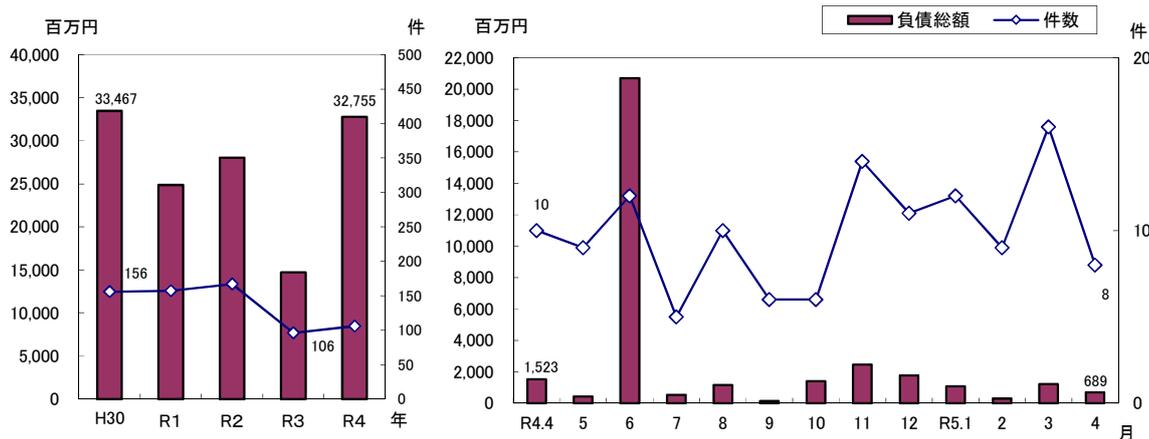
IV 企業倒産状況(令和5年4月)

1 概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が8件、総額6億8,900万円であった。
- ・前月比で件数は8件減少し、負債総額は5億2,700万円減少した。
- ・前年同月比では、件数は2件減少し、負債総額は8億3,400万円減少した。
- ・大型倒産(負債総額10億円以上)の発生はなかった。

区分	令和5年2月	令和5年3月	令和5年4月
件数 (前年同月比)	9件 (125.0%増)	16件 (45.5%増)	8件 (20.0%減)
負債総額 (前年同月比)	298百万円 (166.1%増)	1,216百万円 (10.1%減)	689百万円 (54.8%減)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別、月別・前年同月比)



2 業種別

件数は、卸・小売・飲食業が3件、建設業、サービス業が各2件、運輸・通信業が1件となった。

負債総額では、サービス業、運輸・通信業、卸・小売・飲食業、建設業の順となった。

3 原因別

原因別では、販売不振が8件であった。

4 今後の見通し

令和5年4月度の倒産件数は8件となり、令和5年3月度まで前年同月比では5ヵ月連続の増加だったが、一転して倒産件数は減少した。ただ、増勢傾向にあることは否めない。

業歴別倒産状況では30年以上が5件、10年以上20年未満が2件、20年以上30年未満が1件と業歴10年以上の倒産が全体の100.0%を占め、前月3月度では業歴10年以上の倒産が全体の50.0%と比較的業歴の長い企業の倒産が続いている。

原因別にみると販売不振のみとなり、件数は8件で、既往のシワ寄せ、売掛金回収難は無かったが、これらを合計した不況型倒産8件で全体の100.0%を占めた。

そのような中、新型コロナウイルスを要因とした倒産は4月度8件中4件発生し、これまでの累計は130件(負債総額1,000万円以上)となり、倒産に占める新型コロナウイルス関連倒産の割合は高まりつつある。

コロナ禍では外出自粛やイベント中止・延期などもあった一方で、一部の業種では巣ごもり需要などの恩恵も受けた。しかし、令和4年に入りコロナ禍の落ち着きが進むにつれて巣ごもり需要が解消され、ロシアのウクライナ侵攻の影響だけでなく、円安が進み、穀物や食材の価格の他、水道・光熱費なども高騰した。このため、価格転嫁が小規模の企業ほど難しく、事業継続に大きな影響を及ぼしている。また、人手確保のための人件費負担も重くのしかかっている、経営基盤が脆弱で、コストアップ負担の吸収が難しい中小・零細企業を中心に、倒産件数を押し上げる可能性が高まっている。

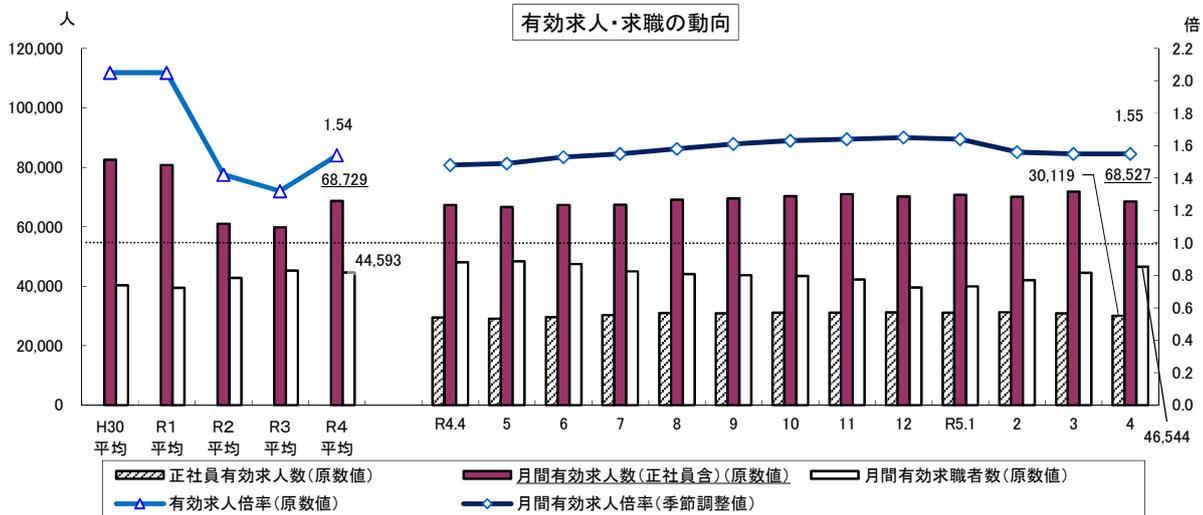
【(株)東京商工リサーチ(5月9日時点)】

V 最近の雇用失業情勢(令和5年4月)

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和5年2月	令和5年3月	令和5年4月
有効求人倍率(季節調整値) (前月比)	1.56倍 (▲ 0.08ポイント)	1.55倍 (▲ 0.01ポイント)	1.55倍 (+0.00ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.24倍 (+0.07ポイント)	1.16倍 (+0.05ポイント)	1.11倍 (+0.05ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

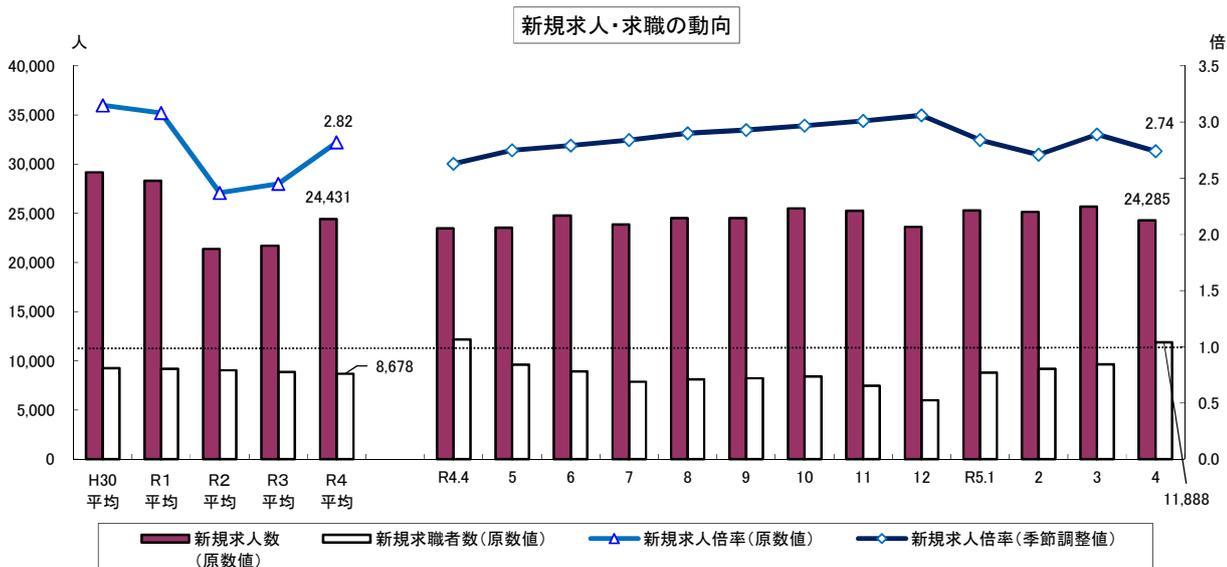
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和4年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和5年1月分公表時改訂)

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和5年2月	令和5年3月	令和5年4月
新規求人倍率(季節調整値) (前月比)	2.71倍 (▲ 0.13ポイント)	2.89倍 (+0.18ポイント)	2.74倍 (▲ 0.15ポイント)

【広島労働局】

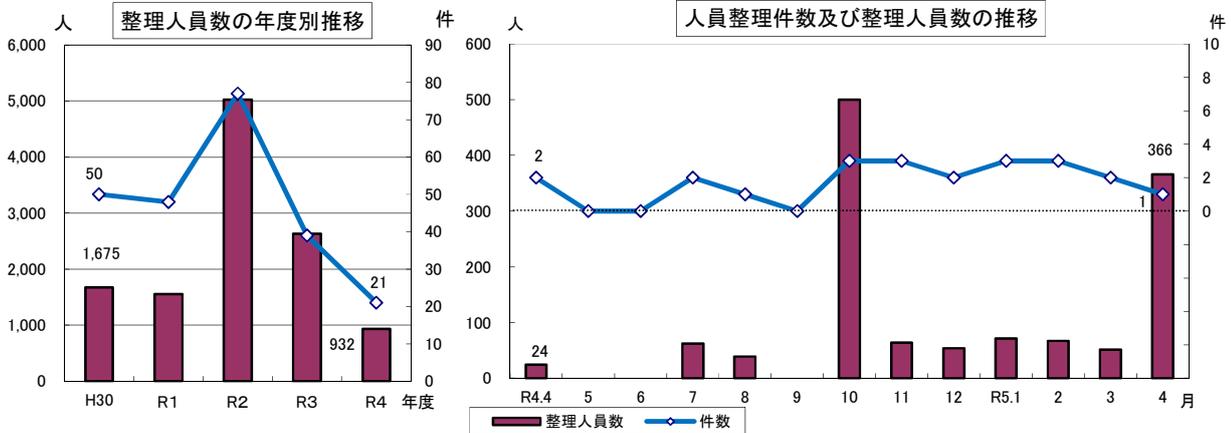


(注) 令和4年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和5年1月分公表時改訂)

3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和5年2月	令和5年3月	令和5年4月
件数 (前年同月比)	3件 (▲ 2件)	2件 (▲ 1件)	1件 (▲ 1件)
整理人員 (前年同月比)	67人 (▲ 56人)	51人 (▲ 170人)	366人 (+ 342人)

【広島労働局】

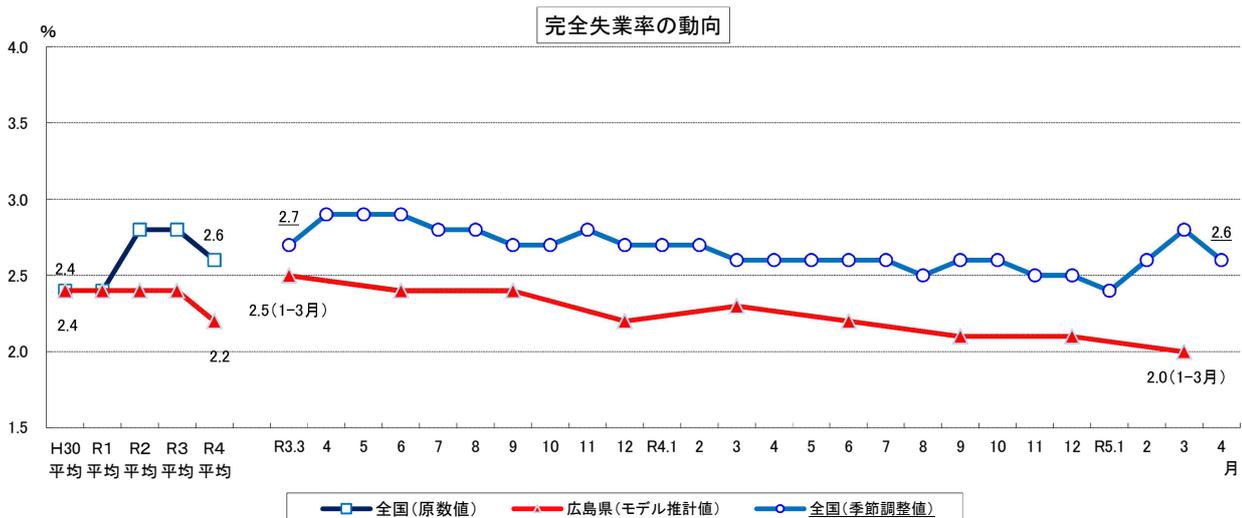


4 完全失業率の状況(全国・県内)

区 分	令和5年2月	令和5年3月	令和5年4月
全国完全失業者数 (前年同月比)	174万人 (▲ 6万人)	193万人 (+ 13万人)	190万人 (+ 2万人)
全国完全失業率(季節調整値) (前月比)	2.6% (+0.2ポイント)	2.8% (+0.2ポイント)	2.6% (▲ 0.2ポイント)

区 分	令和4年		令和5年
	7～9月平均	10～12月平均	1～3月平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前年同期比)	2.1% (▲0.3ポイント)	2.1% (▲0.1ポイント)	2.0% (▲0.3ポイント)

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1～3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。